

【JIN 法人会員向けイベントレポート】

「オープンイノベーション推進組織の役割～推進リーダーは何をすべきか～」

2016年7月12日(火)、一般社団法人 Japan Innovation Network (JIN) は、ナインシグマ・ジャパンのヴァイスプレジデント(VP)松本氏を JIN オフィスにお招きし、JIN 法人会員向けイベント「オープンイノベーション推進組織の役割～推進リーダーは何をすべきか～」を開催しました。

■JIN 紺野代表理事 挨拶



18時よりイベントをスタートし、初めに JIN 代表理事の紺野登氏より、「オープンイノベーションの目的とは」と題して説明を行いました。また、各参加者にオープンイノベーションに関するアンケートに回答いただくとともに、参加者同士でディスカッションを行っていただきました。

■ナインシグマ・ジャパン松本 VP プレゼン「オープンイノベーション推進組織の役割～オープンイノベーション推進リーダーは何をすべきか～」



続いて、ナインシグマ・ジャパン VP の松本毅氏が登壇し、従来の業界内相互補完型のクローズドイノベーションから、異分野を含めた創造型のオープンイノベーションへの転換が必要であるとのメッセージとともに、松本氏ご自身のご経験をもとに、オープンイノベーションをスタートする、仕組みを創る、成果を出す、という各フェーズでのポイントについてご説明いただきました。

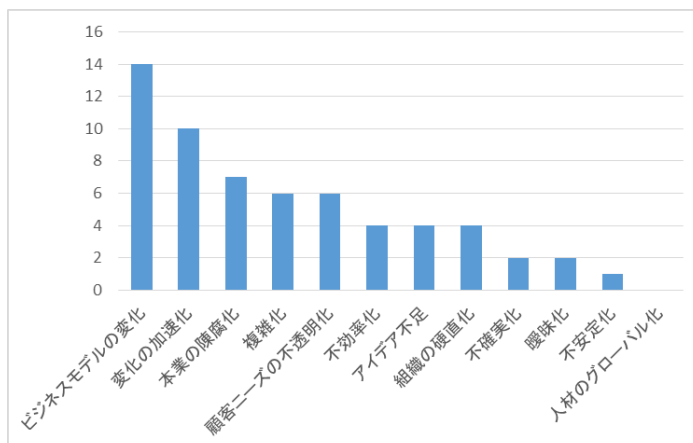
■JIN 紺野代表理事とナインシグマ・ジャパン松本 VP、参加者とのディスカッション



JIN 紺野代表理事とナインシグマ・ジャパン松本 VP に参加者も交えて、イベント冒頭のアンケート結果を基に、ディスカッションを行いました。

アンケート結果では、オープンイノベーションが求められる背景としての変化について、多くの参加者から「ビジネスモデルの変化」、「変化の加速化」、「本業の陳腐化」といった、本業の変革を迫る事業環境変化があげられました(表1参照)。

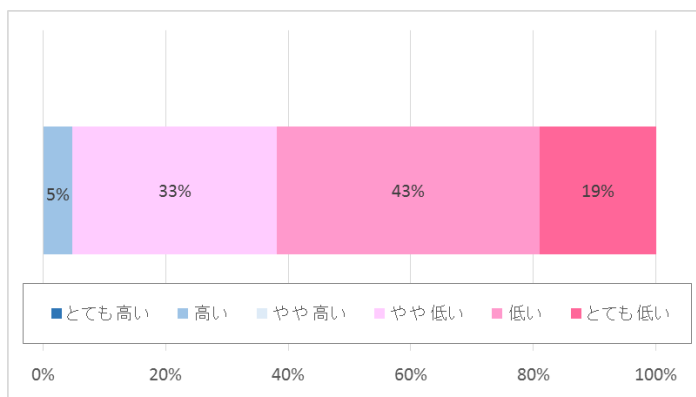
表1: オープンイノベーションが求められる背景としての変化



N=21、複数回答可

一方、そのような事業環境変化の中で、自社のオープンイノベーションの進化レベルについては、参加者の9割以上から低い(「やや低い」、「低い」、「とても低い」と)の回答があり、今後さらにオープンイノベーションを推進する必要性を再認識しました(表2参照)。

表2: 自社のオープンイノベーションの進化レベル



N=21

一般社団法人 Japan Innovation Network(JIN)事務局

[お問合せ先]

ホームページ: <http://ji-network.org/contact/>

メール: info@ji-network.org